

ヨウ素液

I 実験中における注意点

- ☆だ液を使う実験では、うっかり口に入る危険があるので、厳重に注意を促す。
- ☆万一飲み込んだらすぐに診断を受ける。
- ☆ヨウ素液が目や皮膚についたら、多量の水で洗い流す。
- ☆衣服に付くと、洗剤で洗ってもおちない。ビタミン C などの還元剤をつけ、ヨウ素の色が消えたら水で洗い流す。

II 薬品の性質

- ヨウ素液は、温度によって三態変化（固体 \rightleftharpoons 液体 \rightleftharpoons 気体）をせず、固体を熱すると液体の段階を飛び越え、紫色の気体となる。
- 気体は劇物であり、有毒で浸食性があるため吸い込まないように注意する。
- ヨウ素は、密栓をして冷暗所に保管する。
- ヨウ素をアンモニアと一緒にすると爆発することがあるので、離して保管する。
- ヨウ素（固体・黒紫色）をヨウ化カリウム水溶液にとかしたものを、薄い黄色の液体で、でんぷんにつけると青紫色に染まる。
- ヨウ素液は光により変質するので、褐色ビンに入れる。



III 使い方

- ヨウ素ででんぷん反応を使って、でんぷんの有無を調べられる。
- ヨウ素液の濃度が濃かったり、でんぷんの比率が高かったりすると、反応時に青紫色でなく黒く見える。



IV 廃棄処分法

- でんぷんにつけたものは、燃えるごみとして処分する。

V 関連単元

5年 植物の発芽と成長

6年 植物のつくりとはたらき

6年 ヒトや動物の体のつくりとはたらき